ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 2

1 基本項目

事務事業名	生涯学習振興事業			担当部署 課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	生涯学習振興事業			係名	生涯学習・文化係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-1045
事務区分	自治事務			予算科目 会計	一般会計
事業期間	開始年度 昭和45年度	終了年度	当面継続	款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち			項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			目	社会教育総務費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－１．学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上			総合戦略との関連	関連なし
根拠法令				集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし			評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	・各地区地域振興会（地区コミュニティセンター）に委託して、生涯学習推進のための各種教室・講座などを開催している。 ・市の社会教育全般について助言や意見を受けるため、社会教育委員を設置する。社会教育委員は、東海北陸社会教育研究大会などへの参加を通じて社会教育の現状や動向について研修し、時代にあった社会教育事業の実施につなげていく。 ・市民の生涯学習活動の成果を発表する生涯学習フェスティバルを開催する。
対象	市民
手段（活動指標）	・各地区コミュニティセンターが主体となって各種教室や講座等を開催する。 ・社会教育委員会議の開催及び社会教育研究大会（東海北陸ブロック）への参加 ・生涯学習活動を始めたい市民への的確な情報提供、生涯学習の新たな指導者の育成を図る。
意図（成果指標）	・社会教育委員からの事業への意見や提言を受け、事業に反映させていく。 ・生涯学習に取り組む人が増える。

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 地域における生涯学習活動の実施回数	回	450	476	460	452	98.3%	450
活動	② 生涯学習事業の実施回数（指標要検討）	回	3	3	3	2	66.7%	2
成果	① 地域における生涯学習活動の延べ参加者数	人	9,084	10,473	11,000	9,323	84.8%	9,500
成果	② 生涯学習事業の参加者数	人	1,235	800	800	650	81.3%	800

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	3,228,976	11,730,113	11,776,000	11,502,327	0	-1.9%	11,929,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円					0		0
事業費 財源内訳	②県支出金	円		1,003,000			0		0
事業費 財源内訳	③地方債	円					0		0
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	0		57,000	52,000	0		17,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	3,228,976	10,727,113	11,719,000	11,450,327	0	6.7%	11,912,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	2	2	―	-33.3%	2
人件費	②年間所要時間	時間	500	1,700	1,100	1,000	―	-41.2%	1,100
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,052,000	6,976,800	4,514,400	4,104,000	―	-41.2%	4,514,400
総費用（A＋B）		円	5,280,976	18,706,913	16,290,400	15,606,327	0	-16.6%	16,443,400

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

〇各地区地域振興会（コミュニティセンター）へ委託し、各地域に応じた公民講座や異世代交流などの各種生涯学習教室を開催した。

〇生涯学習教室友の会や地区コミュニティセンターで開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。
【開催日】令和８年３月15日【場所】新川学びの森天神山交流館
⇒来場者数600人
今回も（一社）にいかわ学びの森みらい会議主催の活性化イベント「What's学びの森」と同時開催し幅広い世代の参加者など相乗効果が得られた。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	B	① 目標達成度	3 低い・未実施
			② 類似事業の有無	2 検討の余地あり
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	2 改善の余地あり
結果(総括)	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	

今後の方針

	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小	〇	統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

①13地区振興会へ委託している生涯学習活動振興事業については、参加者の減少及び固定化が課題であり、人口減少に応じた実施方法の検討が必要。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 6

1 基本項目

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	放課後子ども教室推進事業				係名	生涯学習・文化係
新規・継続区分	継続事業				電話番号	0765-23-1045
事務区分	自治事務			予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度	平成13年度	終了年度	当面継続	款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち				項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				目	社会教育総務費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進			総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－１．学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上			総合戦略との関連		関連あり（評価対象）
根拠法令				集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし			評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	放課後における子どもたちの安全･安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、勉強やスポーツ･文化活動等地域に根ざした多様な体験活動の機会を提供し、地域全体で子どもたちを育む。主として小学校児童を対象に市内全地区の公民館及びコミュニティセンターと星の杜小学校において、様々な遊び、料理、伝統芸能、サークル活動等を行う。
対象	市内の小学生
手段（活動指標）	平日放課後並びに土日・祝日にコミュニティセンター等でサークル活動・体験活動を実施する。
意図（成果指標）	放課後において子どもたちの安全な居場所が確保される。

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① 実施教室数	箇所	16	16	15	15	100.0%	15
活動 ② 教室開催数（総数）	回	303	245	220	210	95.5%	210
成果 ① 参加者数（延べ）	人	3,929	3,888	4,000	2,970	74.3%	3,000
成果 ②							

4 コスト情報

区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費合計（A）	円	1,950,000	1,530,520	1,799,000	1,395,200	0	-8.8%	1,666,000
事業費 財源内訳 ①国庫支出金	円					0		
事業費 財源内訳 ②県支出金	円	1,292,000	1,020,000	1,192,000	742,000	0	-27.3%	1,104,000
事業費 財源内訳 ③地方債	円					0		
事業費 財源内訳 ④その他（使用料、雑入等）	円					0		
事業費 財源内訳 ⑤一般財源	円	658,000	510,520	607,000	653,200	0	27.9%	562,000
人件費 ①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	1	1	―	-50.0%	1
人件費 ②年間所要時間	時間	700	700	700	400	―	-42.9%	700
人件費 ③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,872,800	2,872,800	2,872,800	1,641,600	―	-42.9%	2,872,800
総費用（A＋B）	円	4,822,800	4,403,320	4,671,800	3,036,800	0	-31.0%	4,538,800

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

○放課後子ども教室は、片貝コミュニティセンターと星の杜小学校で２教室を開設。
星の杜小学校での教室は、放課後子ども総合プランによる放課後児童クラブとの一体型としての活動。
○土曜教室は、各地区コミュニティセンターで13教室を開設

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	

今後の方針		
○ 現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小	統合等の検討
	事業の休止	終了又は廃止

方針の説明等

少子化対策としても重要な事業であり、関係団体と協議して事業を展開していく必要がある。また、小学校の統合により、実施場所や方法について見直していく必要がある。
R6公民館のコミセン化に伴い、公民館活動振興事業と併せて事務の所管について協議、検討し、R6年度より地域協働課から事務が移管された。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 2

1 基本項目

事務事業名	資料収集保存提供事業	担当部署	課等名	図書館
予算事業名	資料収集保存事業		係名	図書係
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-22-0462
事務区分	自治事務	予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度：平成10年度　終了年度：当面継続		款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち		項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり		目	図書館費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－１．学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上	総合戦略との関連		関連なし
根拠法令	図書館法第3条第1項第1号～第4号	集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入済	評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を選び、収集、保存、管理し市民や利用者に提供する。
対象	市民及び図書館利用者
手段（活動指標）	新刊の図書・雑誌・郷土資料等を購入するとともに、リサイクル資料の積極的な受入や相互貸借等により、より多くの資料を提供する。
意図（成果指標）	市民の図書館の利用及び本への親しみが増加する。

3 指標

活動指標名・成果指標名		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 市民	人	39,274	38,617	37,997	38,013	100.0%	37,377
活動	② 図書館利用登録者数	人	18,399	19,344	19,500	18,614	95.5%	19,500
成果	① 入館者数	人	158,730	144,621	160,000	141,487	88.4%	150,000
成果	② 貸出冊数（個人）	冊	212,482	196,128	220,000	199,213	90.6%	220,000

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	13,863,314	13,673,714	13,715,629	13,264,503	0	-3.0%	14,190,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	②県支出金	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	③地方債	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	424,977	454,092	748,000	456,282	0	0.5%	799,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	13,438,337	13,219,622	12,967,629	12,808,221	0	-3.1%	13,391,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	－	0.0%	4
人件費	②年間所要時間	時間	2,500	2,500	2,500	2,500	－	0.0%	2,500
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	10,260,000	10,260,000	10,260,000	10,260,000	－	0.0%	10,260,000
総費用（A＋B）		円	24,123,314	23,933,714	23,975,629	23,524,503	0	-1.7%	24,450,000

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者に提供した。また、資料の照会や本の相談（レファレンス）に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。
・雑誌スポンサー制度を継続し、経費の削減を図った。
・うおづ電子図書館を運営した。
・寄附金を受け、寄付者の意向に沿いながら本を購入した。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

本と電子書籍双方を充実させ、市民の読書活動と生涯学習を支援していく。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 3

1 基本項目

事務事業名	教養・普及事業	担当部署	課等名	図書館
予算事業名	教養・普及事業		係名	図書係
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-22-0462
事務区分	自治事務	予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度：平成17年度　終了年度：当面維持		款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち		項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり		目	図書館費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－１．学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上	総合戦略との関連		関連なし
根拠法令	図書館法第3条第1項第6号	集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入・手法の検討を行った	評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	図書館教室（古文書解読会・読書会など）や文学講座・歴史講座・お話し会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催。 現図書館の開館20周年を記念し、各種記念事業を実施。
対象	市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方
手段（活動指標）	図書館映画上映事業、文学講座、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、読み聞かせ講習会、図書館教室（古文書解読会、草かなで読む読書会、魚津読書会、川柳教室）、図書館コンサート
意図（成果指標）	図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 図書館教室開講数	件	59	62	70	44	62.9%	60
活動	② おはなし会開催数	件	51	45	55	47	85.5%	55
成果	① 図書館教室参加人数	人	519	434	550	473	86.0%	550
成果	② おはなし会参加人数	人	485	495	500	456	91.2%	500

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	328,985	139,056	590,231	518,549	0	272.9%	184,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	②県支出金	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	③地方債	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	355,000	154,000	190,000	254,000	0	64.9%	120,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	-26,015	-14,944	400,231	264,549	0	-1870.3%	64,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	―	0.0%	4
人件費	②年間所要時間	時間	1,500	1,500	1,500	1,600	―	6.7%	1,500
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	6,156,000	6,156,000	6,156,000	6,566,400	―	6.7%	6,156,000
総費用（A＋B）		円	6,484,985	6,295,056	6,746,231	7,084,949	0	12.5%	6,340,000

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・図書館教室や文学講座・歴史講座、おはなし会、シネマ倶楽部などを開催した。
・こども行事（こどもなつ祭り、クリスマス会）を行った。
・市内外の有識者を講師・アドバイザーとしてお迎えし、横山源之助を偲ぶ談話会などの講座を開催した。
・現図書館開館20周年を記念し各種事業を実施した。（ロゴデザイン作成、記念講演、謎解きゲーム、企画展、クリアファイルの作成・販売、ぬいぐるみと集まれおはなしの会）

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果（総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

図書館の郷土資料を活用した質の高い講座、教室を開催する。市民ニーズに応えながら、周知・広報活動に努め参加者数の増加を図る。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 8

1 基本項目

事務事業名	文化財維持管理事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	文化財維持管理事業		係名	文化財保護係
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-23-1045
事務区分	自治事務	予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度 昭和38年 / 終了年度 当面継続		款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち		項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり		目	文化費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－２．ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用	総合戦略との関連		関連なし
根拠法令	博物館法、文化財保護法	集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし	評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	・市内にある文化財の管理。文化財保護審議会及び博物館協議会の開催。 ・埋蔵文化財調査室の施設管理を適切に行い、発掘調査によって出土した埋蔵文化財を整理し、管理・収蔵及び調査報告書の作成等を行う。 ・令和8年3月より、旧十二銀行魚津支店の施設管理。
対象	・市内の文化財。 ・発掘された埋蔵文化財及び発掘調査記録。
手段（活動指標）	・文化財保護審議会及び博物館協議会の開催及び未指定文化財の調査を実施し、文化財の保存や活用を図る。また博物館のより良い運営形態を図る。 ・出土品及び記録保存された図面等に対する適切な整理・収蔵。
意図（成果指標）	・未指定文化財の調査や、文化財の状況を随時確認することで、文化財の劣化や破壊を防ぎ、後世に残すことができる。 ・発掘された埋蔵文化財が適切に整理、管理、収蔵される。これにより魚津の文化財として適切に保存されることになる。

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① 文化財保護審議会及び博物館協議会の開催	件	1	1	2	1	50.0%	2
活動 ②							
成果 ① 文化財調査件数	件	2	2	3	2	66.7%	3
成果 ② 新たな指定文化財件数	件	0	0	1	0	0.0%	1

4 コスト情報

区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費合計 （A）	円	1,250,151	960,031	2,582,000	1,588,658	0	65.5%	5,444,000
事業費 財源内訳 ①国庫支出金	円							
事業費 財源内訳 ②県支出金	円							
事業費 財源内訳 ③地方債	円							
事業費 財源内訳 ④その他（使用料、雑入等）	円				12,000			4,100,000
事業費 財源内訳 ⑤一般財源	円	1,250,151	960,031	2,582,000	1,576,658		64.2%	1,344,000
人件費 ①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	－	0.0%	3
人件費 ②年間所要時間	時間	700	900	700	1,000	－	11.1%	900
人件費 ③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,872,800	3,693,600	2,872,800	4,104,000	－	11.1%	3,693,600
総費用（A＋B）	円	4,122,951	4,653,631	5,454,800	5,692,658	0	22.3%	9,137,600

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・博物館協議会を1回開催（令和８年３月19日）。
・県指定史跡である松倉城跡の草刈りを2回実施。⇒R6～地域協働課まちづくり交付金へ統合
・県指定天然記念物である大沢の地鎮杉の草刈りを１回実施。
・埋蔵文化財調査室の維持管理。
・天神山公衆トイレの維持管理。
・松倉城跡本丸内の倒木処理業務を５月に実施。
・松倉城跡の樹木健全化調査を実施。
・旧十二銀行魚津支店の機械警備、維持管理開始。（R7年５月市取得、R8年３月市へ引き渡し）
・魚津城跡石碑周辺（旧大町小学校敷地内）の枯損木、支障枝の伐採。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

博物館協議会、文化財保護審議会等は市内の博物館や文化財を管理していく上で必要である。また、国、県、市それぞれの指定文化財や登録文化財を適切に維持、管理、活用していく必要がある。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 10

1 基本項目

事務事業名	文化財保存活用事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	文化財保存活用事業		係名	文化財保護係
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-23-1045
事務区分	自治事務	予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度：不明　終了年度：当面継続		款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち		項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり		目	文化費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－２．ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用	総合戦略との関連		関連あり（評価対象）
根拠法令	文化財保護法	集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入済	評価対象年度の重点事業		該当

2 事業概要

事業概要	・市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行うほか、文化財保存のための調査や整備、補助、破損時の保存修理等を実施。 ・「魚津のタテモン行事」を安定的に開催するための協力・支援事業のほか、他の保存団体が実施する保存・継承に必要な事業へ補助金を交付。 ＜レガシー事業＞地元産の木材でたてもんを製作することを目指し植樹（H29～R1）した「たてもんの森」の管理・整備のほか、運営支援（祭りの恒常的開催のため運営経費を支援）やたてもん祭りの由来、写真資料等の調査・収集作業、ユネスコPR普及啓発事業等を実施。
対象	・市内の文化財。指定無形民俗文化財保存団体。魚津市の歴史を調査研究する団体。 ＜レガシー事業＞魚津市在住の小学生～大人
手段（活動指標）	・市内の文化財の保存・活用のために整備を行うとともに、伝統的な祭りの継承に努める。 ・各保存団体において、郷土に伝わる文化財の保存・継承が行われる。 ＜レガシー事業＞ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りを後世に継承していく意識を高める事業の推進。
意図（成果指標）	・市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。 保存会等の活動が活発になり、無形民俗文化財が適切に保存・継承される。また、歴史同好会会員により魚津の歴史や伝統についての調査がなされる。 ＜レガシー事業＞ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りが後世に安定的に継承される。

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 文化財保存活用のための整備・補助の件数	件	5	6	7	5	71.4%	7
活動	② たてもんの森に関わる事業（森のあそび場含）の参加者数	人	37	23	40	26	65.0%	30
成果	① 文化財保存活用事業への年間延べ参加者数	人	35	19	20	43	215.0%	20
成果	② たてもん協力隊参加者数	人	184	219	300	200	66.7%	250

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	3,970,272	4,753,131	25,129,000	6,320,428	0	33.0%	10,781,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円			9,000,000				
事業費 財源内訳	②県支出金	円							
事業費 財源内訳	③地方債	円			8,200,000				
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	18,348		3,037,000	64,762			9,273,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	3,951,924	4,753,131	4,892,000	6,255,666		31.6%	1,508,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	－	0.0%	3
人件費	②年間所要時間	時間	700	1,100	1,100	1,100	－	0.0%	900
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,872,800	4,514,400	4,514,400	4,514,400	－	0.0%	3,693,600
総費用（A＋B）		円	6,843,072	9,267,531	29,643,400	10,834,828	0	16.9%	14,474,600

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

・松倉城跡国指定関連事業として、指定範囲の同意取得事業を地元地区と協議しながら進めてきた。併せて国指定に伴う地元説明会を開催した。
・北海道東川町との交流事業として、市内小学生7名、せり込み蝶六保存会２名とともに東川町を訪問し、交流事業を行った。←消す
・旧十二銀行魚津支店の建物調査報告会を実施（２月14日）。
・市指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助（補助団体：布施谷節保存会、鹿熊刀踊り保存会、せり込み蝶六保存会）
・国指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助（補助団体：たてもん保存会）。
・たてもん祭りが開催された。たてもん協力隊には200名の参加があった。
・全国山・鉾・屋台保存連合会総会へ出席（長浜市）。←消す
・山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク総会へ出席（飛騨市）。
＜レガシー事業＞
・R5年度よりたてもんの森周辺を会場に５～６歳の未就学児を対象とした自然体験教室を開催（R7/11/22）参加者：親子7組18名、ボランティアスタッフ等８名、合計25名

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果（総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

指定文化財や今後保存すべき文化遺産に対して、現状把握と保存・整備・活用についてその地域と連携し、進めていく必要がある。また、ユネスコ無形文化遺産に登録の「魚津のタテモン行事」は、国を代表する祭りの１つとして、その保存と継承に努める責任があり、保存団体と市民、行政が一体となり、安定的運行と後継者育成、ＰＲに努めていく。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業№. 17

1 基本項目

事務事業名	資料館収蔵品移設事業				
予算事業名	資料館収蔵品移設事業				
新規・継続区分	継続事業				
事務区分	自治事務				
事業期間	開始年度	令和４年度	終了年度	令和11年度	
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち				
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進				
総合計画 基本事業名	基本事業14－３．博物館の充実				
根拠法令					
ＤＸ導入状況	導入予定なし				

担当部署		予算科目	
課等名	生涯学習・スポーツ課	会計	一般会計
係名	生涯学習・文化係 / 文化財保護係	款	教育費
電話番号	0765-23-1045	項	社会教育費
		目	社会教育総務費

総合計画主な事業	記載なし
総合戦略との関連	関連なし
集中プランとの関連	関連あり（評価対象）
評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	歴史民俗資料館の解体及び収蔵品の移設を行う。
対象	博物館施設及び館収蔵品、市民、県内外観光客
手段（活動指標）	収蔵品の移設
意図（成果指標）	資料館の解体

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 収蔵品の移設（仮収蔵庫）	件	30	0	2,900	2,900	100.0%	0
活動	②							
成果	① 資料館の解体	件	1	0	0	0		0
成果	②							

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	42,206,460	4,501,200	3,500,000	2,440,900	0	-45.8%	0
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円							
事業費 財源内訳	②県支出金	円							
事業費 財源内訳	③地方債	円							
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円							
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	42,206,460	4,501,200	3,500,000	2,440,900		-45.8%	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	―	0.0%	4
人件費	②年間所要時間	時間	1,500	1,500	1,500	1,100	―	-26.7%	0
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	6,156,000	6,156,000	6,156,000	4,514,400	―	-26.7%	0
総費用（A＋B）		円	48,362,460	10,657,200	9,656,000	6,955,300	0	-34.7%	0

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

○収蔵品は、郷土館収蔵庫及び農協会館１階を利用。農協会館については、賃貸借契約を結んだ。（有限会社アイエヌエル）
○今後は、仮収蔵施設からの移設についての時期や内容について、関係機関との調整・検討を進める必要がある。
○令和７年度予算査定により、旧農協会館をR7年度７月末で賃貸借契約を終了し、旧総合体育館へ移設させることとなった。

○R7年度は、旧農協会館より、旧総合体育館へ収蔵品の移設のため運搬作業を実施。小型品は職員等による運搬作業により、大型あるいは重量のあるものは専門業者による運搬を業務委託した。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	B	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果（総括）	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針		
	現状を維持	事業の拡充
○	事業の縮小	統合等の検討
	事業の休止	終了又は廃止

方針の説明等

仮収蔵庫への移設及び資料館の解体は完了した。今後は、仮収蔵庫での収蔵品の維持を続けるとともに、収蔵品の移設について関係機関との調整を行う。

ハード事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 4

1 基本項目

事務事業名	水族館施設整備事業			担当部署 課等名	水族博物館
予算事業名	施設整備事業			係名	飼育研究係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-24-4100
事務区分	自治事務			予算科目 会計	水族館事業特別会計
事業期間	開始年度	平成20年	終了年度 当面継続	款	水族館費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち			項	水族館費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			目	水族館管理費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進			総合計画主な事業	記載なし
総合計画 基本事業名	基本事業14－３．博物館の充実			総合戦略との関連	関連なし
根拠法令				集中プランとの関連	関連あり（評価対象）
ＤＸ導入状況	導入予定なし			評価対象年度の重点事業	該当

2 事業概要

事業概要	水族館施設の大規模な施設改修事業
対象	①入館者②魚津水族館館内設備
手段（活動指標）	大規模な整備に関する施設改修工事
意図（成果指標）	効果的な改修を行い、４代目水族館建設まで、安定運営を図る。

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① 年間入館者数	人	149,349	162,878	170,000	189,928	111.7%	219,000
活動 ②							
成果 ① 入館者の前年対比	%	97.7	109.0	104.0	116.6	112.1%	115.3
成果 ②							

4 コスト情報

区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費合計 （A）	円	39,023,700	91,908,600	48,529,000	47,537,600	0	-48.3%	56,947,000
財源内訳 ①国庫支出金	円							
財源内訳 ②県支出金	円							
財源内訳 ③地方債	円	35,000,000	80,500,000	43,600,000	42,608,600		-47.1%	51,200,000
財源内訳 ④その他（使用料、雑入等）	円	4,023,700	11,408,600	4,929,000	4,929,000		-56.8%	5,747,000
財源内訳 ⑤一般財源	円							
人件費 ①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	－	0.0%	2
人件費 ②年間所要時間	時間	1,200	1,200	1,200	800	－	-33.3%	800
人件費 ③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	4,924,800	4,924,800	4,924,800	3,283,200	－	-33.3%	3,283,200
総費用（A＋B）	円	43,948,500	96,833,400	53,453,800	50,820,800	0	-47.5%	60,230,200

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

〇外壁塗装工事
〇井水揚水水中ポンプNo.２更新工事
〇富山湾大水槽ポンプNo.１更新工事
〇波の水槽熱交換器更新工事
〇海水切り換えバルブ更新工事
〇汚水中継ポンプ修繕工事
〇電話設備工事
〇ペンギンプール見学通路上屋柱脚修繕工事
〇ウミガメ水槽改修工事

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針			
〇	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

現状では長寿命化計画を策定しているものの、費用面の制約から計画どおりには進められず、優先度の高いもののみを実施している状況です。突発的な不具合については、最低限実施しなければならないところを中心に対応しているため、今後は、より深刻なトラブルが発生する可能性が否定できない状況です。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 5

1 基本項目

事務事業名	水族館企画展事業	担当部署	課等名	水族博物館
予算事業名	企画展事業		係名	飼育研究係
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-24-4100
事務区分	自治事務	予算科目	会計	予算なし
事業期間	開始年度 昭和56年 / 終了年度 当面継続		款	
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち		項	
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり		目	
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－３．博物館の充実	総合戦略との関連		関連なし
根拠法令		集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入予定なし	評価対象年度の重点事業		該当

2 事業概要

事業概要	R5年度より企画展事業を施設管理公社に委託。 事業費を公社委託料へ（一般管理事業へ）。 テーマを選び、ファミリウムを中心に年に数回開催する。
対象	来館者
手段（活動指標）	春の企画展、ホタルイカ展示、シロエビ展示、秋の企画展、ハロウィン特別展示、クリスマス特別展示
意図（成果指標）	企画展を通して、入館者が増し生物に対して興味がわき、知識が増える。

3 指標

	活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 企画展の実施回数	回	2	2	2	2	100.0%	2
活動	②							
成果	① 年間入館者数	人	149,349	162,878	170,000	189,928	111.7%	219,000
成果	②							

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計 （A）	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円							
事業費 財源内訳	②県支出金	円							
事業費 財源内訳	③地方債	円							
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	0	0	0	0	0		0
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円							
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	－	0.0%	2
人件費	②年間所要時間	時間	800	800	800	1,100	－	37.5%	1,100
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	3,283,200	3,283,200	3,283,200	4,514,400	－	37.5%	4,514,400
総費用（A＋B）		円	3,283,200	3,283,200	3,283,200	4,514,400	0	37.5%	4,514,400

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

企画展の企画・実施を施設管理公社に委託。
市学芸員は飼育員と連携して企画の段階から携わった。
〇春の企画展　ホタルイカ展～ホタルイカマスターへの道～
〇さわリウム
〇秋の企画展「寿司展　～寿司ネタ見るなら魚津水族館～」
〇ハロウィン展
〇クリスマス展
〇干支展

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
妥当性			② 目的の妥当性	1 妥当である
妥当性			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり
有効性			② 類似事業の有無	1 なし
有効性			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	B	B	① コスト効率	2 普通
効率性			② 実施主体の適正化	1 適正である
効率性			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

〇	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

企画展示は施設管理公社に委託している。
来館者に学ぶことの楽しさを体験していただけるよう、市の学芸員が飼育員と連携して実施している。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 6

1 基本項目

事務事業名	水族館博物館事業				
予算事業名	博物館事業				
新規・継続区分	継続事業				
事務区分	自治事務				
事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち				
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進				
総合計画 基本事業名	基本事業14－３．博物館の充実				
根拠法令					
ＤＸ導入状況	導入済				

担当部署		予算科目	
課等名	水族博物館	会計	水族館事業特別会計
係名	飼育研究係	款	水族館費
電話番号	0765-24-4100	項	水族館費
		目	水族館管理費

総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合戦略との関連	関連なし
集中プランとの関連	関連なし
評価対象年度の重点事業	該当

2 事業概要

事業概要	①水族館の常設展示生物の飼育･展示　②調査研究　③普及活動に関わること
対象	①常設展示生物　②入館者　③普及活動
手段（活動指標）	①水族館の常設展示生物の飼育・展示　②調査研究　③うおづ水辺の調査隊活動等
意図（成果指標）	①水族館の展示生物をよい状態で飼育・展示ができる　②調査研究の結果を年報やホームページで公表する ③普及活動により、水生生物に対する理解が向上する

3 指標

活動指標名・成果指標名		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 展示生物	点	10,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000
活動	② 調査研究数	件	5	6	6	3	50.0%	6
成果	① 本年度展示生物数/前年度の展示生物数	%	100	100	100	100	100.0%	100
成果	② 論文・報告発表数	数	5	6	6	12	200.0%	6

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	1,279,698	2,754,991	2,710,000	2,390,816	0	-13.2%	3,084,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円							
事業費 財源内訳	②県支出金	円							
事業費 財源内訳	③地方債	円							
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円	1,279,698	2,754,991	2,710,000	2,390,816	0	-13.2%	3,084,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円							
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	2	2	―	-33.3%	1
人件費	②年間所要時間	時間	1,800	1,800	1,600	1,600	―	-11.1%	1,600
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	7,387,200	7,387,200	6,566,400	6,566,400	―	-11.1%	6,566,400
総費用（A＋B）		円	8,666,898	10,142,191	9,276,400	8,957,216	0	-11.7%	9,650,400

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

事務事業の一部を施設管理公社に委託
〇ホタルイカ展示・発光実験開催、市内小学校ホタルイカ出前講座
〇アウトリーチ活動（市内小学校）
〇夏休みイベント「マツカサウオの光を見てみよう！」
〇魚津水族館サポーター事業
《調査研究事業・観察会》
〇うおづ水辺の調査隊事業
〇富山県小河川調査（富山県生物学会）淡水魚・両生類など
〇外来生物調査（アカミミガメ、アメリカザリガニ、アリゲーターガー）

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	A	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針			
○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

博物館事業は水族館の根幹をなすものであり、その充実は欠かせません。恒常的な展示の更新や話題性のある生物展示、各種の普及活動を通じて情報発信を行い、魚津水族館の魅力を発信しています。あわせて、サポーター活動の充実を図り、教育普及や生涯学習の推進につなげています。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 2

1 基本項目

事務事業名	蜃気楼ネットワーク事業	担当部署	課等名	埋没林博物館
予算事業名	蜃気楼ネットワーク事業		係名	管理係
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-22-1049
事務区分	自治事務	予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度：平成15年度　終了年度：当面継続		款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち		項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり		目	埋没林博物館費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進	総合計画主な事業		記載なし
総合計画 基本事業名	基本事業14－３．博物館の充実	総合戦略との関連		関連あり（評価対象）
根拠法令		集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入済	評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	市の観光資源の1つである「蜃気楼」に関する情報の集約、情報交流、発生メカニズムの解明、魚津市民への知識の普及を目指す事業
対象	蜃気楼につながりを持つ人、情報及び魚津市民
手段（活動指標）	蜃気楼交流会の開催、交流会記録誌の発行 日本蜃気楼協議会と連携した講演会の開催
意図（成果指標）	蜃気楼に関する人、情報等の交流を促進し、魚津市民には郷土の地域資源としての蜃気楼に関する理解を深める。

3 指標

活動指標名・成果指標名		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 研究発表件数	件	12	19	10	16	160.0%	10
活動	② 記録誌配付件数	件	50	50	50	50	100.0%	50
成果	① 研究発表会聴講者	人	30	35	50	63	126.0%	30
成果	② 講演会参加者	人	30	31	50	42	84.0%	30

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計（A）	円	209,207	62,325	197,000	172,237	0	176.4%	220,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円			0	0	0		
事業費 財源内訳	②県支出金	円			0	0	0		
事業費 財源内訳	③地方債	円			0	0	0		
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円			0	0	0		
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	209,207	62,325	197,000	172,237	0	176.4%	220,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	―	0.0%	3
人件費	②年間所要時間	時間	500	500	500	300	―	-40.0%	300
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,052,000	2,052,000	2,052,000	1,231,200	―	-40.0%	1,231,200
総費用（A＋B）		円	2,261,207	2,114,325	2,249,000	1,403,437	0	-33.6%	1,451,200

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

○日本蜃気楼協議会と連携した第21回蜃気楼交流会（5/10）を開催した。
○特別講演会、研究発表会（5/11）の内容を記録した「第21回蜃気楼交流会記録誌」を発行した。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	2 普通
効率性	A	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

”蜃気楼の見える街”を掲げる魚津市において、全国の蜃気楼の中心地・拠点施設として継続・発展させていく。より多くの市民の参加を促す工夫が必要。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 3

1 基本項目

事務事業名	埋没林博物館教室事業	担当部署	課等名	埋没林博物館
予算事業名	博物館教室事業		係名	管理係
新規・継続区分	継続事業		電話番号	0765-22-1049
事務区分	自治事務	予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度：平成5年度　終了年度：当面継続		款	教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち		項	社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり		目	埋没林博物館費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進	総合計画主な事業		記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－３．博物館の充実	総合戦略との関連		関連なし
根拠法令		集中プランとの関連		関連なし
ＤＸ導入状況	導入済	評価対象年度の重点事業		非該当

2 事業概要

事業概要	主として魚津市民に対し、郷土の自然とふれあいを通して、その重要性や意義への理解を深めることを目的として講座を主催する。
対象	魚津市民、魚津市の自然に興味のある人（市民以外を含む）
手段（活動指標）	「ふれあい学習会」を開催
意図（成果指標）	魚津市の自然に興味を持ち、接する機会を持ってもらう。

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① ふれあい学習会開催回数	回	8	8	5	56	1120.0%	60
活動 ②							
成果 ① 学習会延べ参加人数	人	81	197	100	461	461.0%	300
成果 ②							

4 コスト情報

区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費合計 （A）	円	50,344	34,945	63,000	18,625	0	-46.7%	63,000
事業費 財源内訳 ①国庫支出金	円			0	0	0		0
事業費 財源内訳 ②県支出金	円			0	0	0		0
事業費 財源内訳 ③地方債	円			0	0	0		0
事業費 財源内訳 ④その他（使用料、雑入等）	円	8,500	32,100	30,000	3,900	0	-87.9%	30,000
事業費 財源内訳 ⑤一般財源	円	41,844	2,845	33,000	14,725	0	417.6%	33,000
人件費 ①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	－	0.0%	3
人件費 ②年間所要時間	時間	700	700	800	500	－	-28.6%	500
人件費 ③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,872,800	2,872,800	3,283,200	2,052,000	－	-28.6%	2,052,000
総費用（A＋B）	円	2,923,144	2,907,745	3,346,200	2,070,625	0	-28.8%	2,115,000

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

〇博物館教室を合計8回開催した。
〇「AIで発見！しんきろう」「森の香りに包まれる手作り体験」など大人から子供まで一緒に楽しめるオリジナル企画を盛り込んだ。

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	B	① 目標達成度	3 低い・未実施
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

魚津市民が郷土の自然などに興味を持ち、学習できる場を提供するため、内容の更新や手法の工夫などを重ねながら継続していく。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 4

1 基本項目

事務事業名	埋没林博物館調査研究事業			担当部署 課等名	埋没林博物館
予算事業名	調査研究・展示事業			係名	管理係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-22-1049
事務区分	自治事務			予算科目 会計	一般会計
事業期間	開始年度	平成4年度	終了年度	当面継続	款 教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち				項 社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				目 埋没林博物館費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－３．博物館の充実			総合戦略との関連	関連なし
根拠法令				集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入済			評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	市内の自然（植物、地質、気象等）を調査研究、記録し、展示や教育普及活動にできる形にして公開し、資料や情報を後世へ伝える。
対象	魚津市及び関連地域の自然
手段（活動指標）	魚津市内の自然史資料に関する調査、研究、資料収集。報告書、印刷物、展示、講演等による調査研究成果の周知 先進地視察研修　県東部地域のジオパークに係る活動に対する助成
意図（成果指標）	調査研究、資料収集等により現況を明らかにし、展示・教育普及等の事業に活用できるようにする。

3 指標

活動指標名・成果指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動 ① 野外調査等回数	回	70	70	70	70	100.0%	70
活動 ②							
成果 ① 新規収集資料数（画像ファイル等のデータ等２次資料を含む）	件	1,500	1,500	1,500	1,500	100.0%	1,500
成果 ② 報告書・出版物・外部執筆・講師派遣等件数	件	30	30	30	30	100.0%	30

4 コスト情報

区分	単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費合計 （A）	円	1,086,400	604,011	659,000	631,109	0	4.5%	4,186,000
財源内訳 ①国庫支出金	円			0	0	0		0
財源内訳 ②県支出金	円			0	0	0		0
財源内訳 ③地方債	円			0	0	0		2,700,000
財源内訳 ④その他（使用料、雑入等）	円			0	0	0		121,000
財源内訳 ⑤一般財源	円	1,086,400	604,011	659,000	631,109	0	4.5%	1,365,000
人件費 ①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	－	0.0%	3
人件費 ②年間所要時間	時間	700	800	800	800	－	0.0%	800
人件費 ③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,872,800	3,283,200	3,283,200	3,283,200	－	0.0%	3,283,200
総費用（A＋B）	円	3,959,200	3,887,211	3,942,200	3,914,309	0	0.7%	7,469,200

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

〇魚津市の植物に関する調査研究
〇蜃気楼に関する調査研究
〇魚津市の地質・地学分野に関する調査研究
〇各種講座等への講師派遣
〇広報誌等の執筆、編集、発行
〇映像ホール調査、視察

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果（総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針

○	現状を維持		事業の拡充
	事業の縮小		統合等の検討
	事業の休止		終了又は廃止

方針の説明等

市内を中心に恒常的に調査を行いデータの蓄積を行い、情報を発信することで博物館の魅力をアピールしていく。

ソフト事業

令和7年度実績に関する事務事業評価表

事業No. 5

1 基本項目

事務事業名	埋没林博物館展示事業			担当部署 課等名	埋没林博物館
予算事業名	調査研究・展示事業			係名	管理係
新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-22-1049
事務区分	自治事務			予算科目 会計	一般会計
事業期間	開始年度	平成4年度	終了年度	当面継続	款 教育費
総合計画 目標名	目標２．未来につなぐまち				項 社会教育費
総合計画 政策名	政策07．誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				目 埋没林博物館費
総合計画 施策名	施策14．生涯学習の推進			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）
総合計画 基本事業名	基本事業14－３．博物館の充実			総合戦略との関連	関連なし
根拠法令				集中プランとの関連	関連なし
ＤＸ導入状況	導入済			評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要

事業概要	調査研究の成果をもとに展示を発案･作成し、知識や情報を親しみやすい形で市民及び博物館利用者に提供する。
対象	常設展示・企画展示内容及び展示物、魚津市民及び入館者
手段（活動指標）	企画展を実施
意図（成果指標）	展示を企画・製作し、利用者の観覧に供する。

3 指標

活動指標名・成果指標名		単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 計画	R7年度 実績	R7年度 達成率	R8年度 計画
活動	① 展示企画開催件数	件	9	11	7	10	142.9%	10
活動	② 企画展開催日数	日	335	293	350	347	99.1%	350
成果	① 企画展示期間入館者数	人	25,728	27,347	30,000	39,672	132.2%	40,000
成果	②							

4 コスト情報

区分		単位	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 予算現額	R7年度 決算額	R7年度 次年度への繰越額	R7年度 決算増減率	R8年度 当初予算額
事業費	事業費合計 （A）	円	2,022,624	1,644,705	1,891,000	1,734,056	0	5.4%	7,170,000
事業費 財源内訳	①国庫支出金	円			0	0	0		3,000,000
事業費 財源内訳	②県支出金	円			0	0	0		0
事業費 財源内訳	③地方債	円			0	0	0		0
事業費 財源内訳	④その他（使用料、雑入等）	円			0	0	0		2,260,000
事業費 財源内訳	⑤一般財源	円	2,022,624	1,644,705	1,891,000	1,734,056	0	5.4%	1,910,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	－	0.0%	3
人件費	②年間所要時間	時間	800	900	900	900	－	0.0%	900
人件費	③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	3,283,200	3,693,600	3,693,600	3,693,600	－	0.0%	3,693,600
総費用（A＋B）		円	5,305,824	5,338,305	5,584,600	5,427,656	0	1.7%	10,863,600

5 取組内容

令和7年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等

○夏の企画展「博覧会のパビリオンだった!?魚津埋没林博物館の７０＋１年展」（7/18～10/31）の開催
○「蜃気楼写真展」（5/1～6/30）の開催
○どこから見よう！？インフィニティミラージュ（毎月2回）開催
○「魚津ナチュラルギャラリー25」（1/2～4/30）の開催
○「魚津ナチュラルギャラリー26」（1/2～4/30）の開催
○大野隆雄　写真展（3/1～4/29）の開催
○星弘之　写真展（7/18～10/31）の開催
○野村英樹　写真展（1/2～4/30）の開催

6 評価

評価の視点	R6評価	R7評価	個別評価の項目	個別評価の判定
妥当性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
			② 目的の妥当性	1 妥当である
			③ 対象の妥当性	1 妥当である
有効性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり
			② 類似事業の有無	1 なし
			③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	A	A	① コスト効率	1 高い
			② 実施主体の適正化	1 適正である
			③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	

今後の方針			
現状を維持		○	事業の拡充
事業の縮小			統合等の検討
事業の休止			終了又は廃止

方針の説明等

埋没林、蜃気楼等に代表される魚津市の自然について、市民や市外からの来訪者の興味を喚起し、理解や保護意識を高めるため継続して実施。